

西学園だより

令和5年1月18日

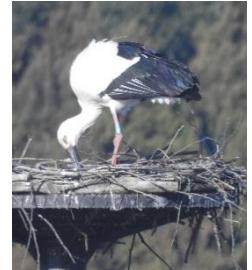


雲南市立認定こども園西こども園
雲南市立西小学校
【文責 表面 梅木 裏面 小田】

3学期が始まりました。よろしくお祈いします！

1月10日（火）、3学期の始業式を行いました。当日は、校門前で春殖地区・幡屋地区防犯ボランティアの会のみなさまに挨拶運動を行っていただきました。寒い中、児童の見守りや声かけ、ありがとうございました。また、その日の朝は、巣塔でげんきくんとポンスニも迎えてくれました。

今年は「卯年」です。卯年は、芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年だといわれています。3学期は一年の締めくくりの学期であるとともに、次の学年につながる節目の学期でもあります。児童が大きくステップできるよう努めたいと思います。どうぞよろしくお祈いします。



1/11 撮影

「わたしが」「よく考えて」を意識して

始業式は新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインで行う形となりました。3学期末に行う卒業式や修了式がみんなで集まってできるよう、感染拡大の早期終息を願うばかりです。式では児童に「わたしが」「よく考えて」の二つの言葉を大切にしてほしいと伝えました。

『わたしが』

“わたしが”と自分が主語になって考えた行動をしてほしいと思います。「先生が言われるから」「人が言うから」と先生や周りの人から言われて、注意されて行動するばかりでなく、わたしがすることは何か、わたしができることは何かと自分が考えた行動をして感染予防に努めましょう。

『よく考えて』

童話「三びきのこぶた」を例に、生活では、友達に声をかけるときはどのような言葉をかけたらいのか考えること。学習では、どうしてそうなるのかその理由を考えたり、他の考えはないかと考えたりすること。家庭学習では、学校で勉強したことについて自分から進んで取り組みましょう。

児童が主体的に自分の考えをもつために、私たち教職員も学校生活の様々な場面で意識して支援していきたいと考えています。例えば、学校生活の様々な場面で、自分の考えを思いめぐらす時間を確保したり、自分の考えを説明する活動を設けたりしたいと考えています。さっそく6年生が、縦割り班掃除におけるコロナ対策を考えました。「手洗いをするように下級生に呼びかける。」「掃除に必要なこと以外はしゃべらないようにする。」などと掃除場所ごとに班の児童に呼びかけました。

このような場を学校生活の様々な場面で取り入れながら、自ら考えて取り組もうとしているときにはその姿勢を認め、達成できた時には大いに称賛し、達成できなくても次に向けて励ましていくことで、児童の主体性や思考力・判断力を育てていきたいと考えています。

児童が描いたコウノトリのラッピングバス

児童が利用する幡屋線の市民バスが新しくなり、1月16日（月）にお披露目式が行われました。車体には児童が応募したコウノトリのイラストのラッピング、車内には6年生が作ったコウノトリの情報が掲示されています。

今回の幡屋線と昨年度新しくなった春殖線の2台のコウノトリバスは、それぞれの地域を回り西小バス停で一緒になります。げんきくんとポンスニのようです。コウノトリと同じようにふるさと
の自慢として大切に利用したいと思います。



ラッピングの前で記念撮影（デザイン考案児童）